

あなたの暮らしにズームイン



中部県行政センター
静岡市有明町2-20 ☎054(286)9005

志太榛原県行政センター
藤枝市瀬戸新屋362-1 ☎054(644)9168

花と緑で彩る みんなの駅

ガーデニングブームの到来で花のある暮らしを楽しむ人が増えてきましたね。県では、花と緑にあふれた県づくりを推進するため、地域活動を行うグループなどと協働して「花咲くしずおか」運動を展開しています。今回は、鉄道の駅を花と緑で飾る皆さんの活動を紹介します。

朝夕の時間帯は、通勤・通学で人通りが多いJR島田駅前。その駅前で、島田市花の会の皆さんが、そろそろ強くなり始めた日差しの中、木製プランターに花の苗を植えています。

この会は、昭和32年に発足し、現在の会員数は約300人。会は7支部に分かれ、市内の公共施設などの花壇の管理を、ボランティアで行っています。駅前のプランターを



汗をふきながらの苗植え作業

☎054(221)2669
県みかん園芸室

管理するのは、中支部・横井支部の皆さん。年に4回ほど季節に合わせて花を植え替えます。会では、独自の育苗場を持ち、種から育てている花もあります。この日植えたのは、マツバギクやゼラニウムなど。植え終わったらたっぷり水をやります。「会員は高齢者が多いので、若返りを図りたい。車を運転して苗を運んだり、力仕事もありますから、男性も大歓迎です。花を愛する人は、思いやりがあるから、そういう方に入ってほしいですね」と会長の鈴木り奈さんは話します。昨年は40代の方が入会し、活動にも活気が出てきました。

道行く人から「ごくろうさま」と声を掛けられ、うれしそうに会員の皆さん。普段何気なく歩いている駅前ですが、花に目をとめてみてください。花があると気持ちがいいと和みます。これからは絶好のガーデニングシーズンです。皆さんも花のある暮らしを始めてみませんか。

情報クリップ 地域の話

静岡市 聖一国師生誕800年記念でまちおこし 静岡市大川地区

静岡市大川地区は、薬科川上流に広がるのどかな山里。ここは静岡にお茶を伝えた高僧・聖一国師生誕の地です。地元では、平成5年には「大川地域振興協議会」を発足し、国師の足跡の調査、国師が歩いた道を示す案内看板の設置、ティロードハイキングなどお茶と国師をテーマにした独自のまちおこしを展開しています。同

今年、国師生誕800年の節目の年。そこで、地元では生誕800年記念事業実行委員会を立ち上げ、新

国師の足跡の調査、国師が歩いた道を示す案内看板の設置、ティロードハイキングなどお茶と国師をテーマにした独自のまちおこしを展開しています。同

志太榛原 自然の中で遊ぶ子どもに手ほどきを 大井川流域ネットワーク

大井川流域ネットワークは、自然の中で遊ぶ機会が少なくなつた子どもたちに、川を中心にした遊び場や友達との輪を広げてもらおうと、志太榛原地区で活動しているボランティア団体です。この活動に加え、行政や企業など、いろいろな自然環境活動を行う団体も支援しています。

4月上旬には、大井川流域ネットワークと環境保全活動に取り組む市民団体「瀬戸川フォーラム」などが一緒に「瀬戸川・里の楽校」を開校しました。子どもたちに地域の民話や伝説を通じて、自然の中でわくわくするような体験をもらおうというこのイベントは、年4回行われています。回を重ねるにつ

れ参加者が増え、参加した子どもたちの親からは、「子どもの表情が変わった。遊び方が変わってきた」という声も届いています。また、大井川流域ネットワーク



川が身近に感じられるようになりました



大川地区のティロード

よる手づくり出版事業。「国師について地元の住民も初めて知ることが多く、いい勉強になりました」とメンバーの森久子さん。絵本は、国師生誕の10月15日の発行を目指しています。

クは、少しでも多くの子どもたちに川への興味を持ってもらえよう、地元の学校や観光施設に、身近に生息する生物を入れた水槽を展示したり、自然の素材を使って動物などを作るネイチャークラフトのイベントも開催しています。「子どもたちに遊びながらふるさとの魅力や大切な自然を感じる」との願いを込めて活動しています。

問合せ／大井川流域ネットワーク ☎0547(36)0706

問合せ／大川地区センター ☎054(291)2002



SHIZUOKA **ものしりのクイズ** QUIZ!

代々のホームコンセプトは何でしょう？

①富士山 ②お茶 ③駿河湾

正解者の中から抽選で20の方にFIFAワールドカップ™関連グッズ(Tシャツ、絵はがき、ネックストラップ)をお送りします。

応募方法
応募先／〒420-8601 静岡中央郵便局私書箱1号 県広報室「県民だよりクイズ係」
応募方法／答えと住所、氏名、年齢(学年)、職業、電話番号を明記 ○はがき ○Eメール(quiz@hq.pref.shizuoka.jp)
応募期限／5月10日(金)必着
今月号の感想や県政へのご意見、ご要望、身近な話題などをお書き添えてください。みんなの広場に掲載させていただきます。

クイズのヒント・ものしりメモと前月号の当選者は6面にあります

編集室から 戸外の緑がさわやかな季節です。公立学校の週5日制が始まり、土日に子どもはどんなチャレンジをするのでしょうか。家にこもるなんてもったいないですね。野や山に子どもと一緒に掛かけて、自然に触れ、その大切さを教えたいですね。

◆いよいよ新茶のシーズンです。茶畑が緑のじゅうたんみたいにかざれています。今年もより多くの人においしいと言ってお茶を飲んでいただきたいと思ってお茶畑を歩いています。(相良町 河原崎浩明さん)

◆道路標識の表示が市役所・町村役場の前までということを知りました。今までは駅までだと思っていました。(静岡市 望月茂文さん)

◆平成14年度予算の特集では、私たちにどう期待できることがいっぱいありますが、どこまで実現してもらえるか楽しみです。(富士宮市 佐野正さん)

みんなの広場

県はあなたの地域の魅力づくりを積極的に支援しています。